

2016年度
沖縄キリスト教短期大学
一般入学試験問題（前期日程）

国語総合 [選択・記述]

受験上の注意事項

- 1 監督者から試験開始の合図があるまでは、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 試験時間は、9時20分から10時20分までの60分間です。
- 3 この問題は、11ページあります。解答用紙は2種類です。
選択テスト（1～7ページ） …… 解答用紙（マークシート）
記述テスト（8～10ページ） …… 解答用紙（最後のページ）
※ 監督者の指示によりページを確かめて、もし間違いがあるときは交換を申し出てください。
※ 記述テストは、最後のページの解答用紙を切り離して解答してください。
- 4 解答用紙（マークシートとA4サイズの2種類）に、受験番号・氏名を記入してください。
- 5 マークシートの記入方法と取り扱いについて
 - 1) 鉛筆（必ずHBまたはB）を使用する。 ※ シャープペンシルは使用しないこと。
 - 2) 解答カード番号は、4 をぬりつぶす。 受験番号は4桁ぬりつぶす。
 - 3) マークシートは、機械処理します。もし解答記入後、訂正するときは、二重解答と読み取られることのないように、消しゴムで完全に消すこと。 また汚損しないこと。
- 6 問題用紙は持ち帰ってください。

国語総合〔選択テスト〕

次の文章を読み、後の問い（問1～問15）に答えなさい。解答はマークシートにマークしなさい。（各4点）

「老い」とは何か

「老い」とは何か、という問いに対して答えることができるためには、その人自身が老いていなければならないのは当然のことである。二十歳の人にこの問いを発しても答えられないのは言うまでもない。しかし、八十歳の老人に尋ねてみても、誰もが直ちに答えてくれるとは限らない。「老い」とは、という問いの意味が身体的な老いだけを問題にしているならば、それはアの問題であり、答えは比較的単純であろう。しかし、老いが、その人の社会的な行動に関する問題だとすれば、答えは非常に複雑であり、個人個人によって異なってくる。ある人は、例えば八十歳になっても社会的には重要な立場にいて、イその社会的活動も多彩であり、激しいものである場合もあるだろう。あるいは作家や学者のように、身体的な行動は激しくはないが、頭脳は新しい作品を書いたりすることで活発に働いている、という場合もあるだろう。

また、一切のウ的行動から退いて、植物を育てたり旅行をしたり本を読んだり、と自分の好きなことをして楽しんでいる人もいるだろう。

このように老いてからの生活は、人それぞれに異なる。しかし、「年をとる」ということで（程度の差はあるにせよ）、すべての人に共通なものがある。それは、①若い人たちが何かある困難に遭遇したときに、自分より若い人ではなくて、年齢の上の人に相談しに行くのが通常である、ということである。その理由は、年長の人は必然的に自分より、より多くの経験をしているはずで、困難の解決方法についても知っているに違いないから、それを聞いて当面している問題に役立てよう、という思いがあるからである。

「老いる」ということのほんとうの意味、すなわちその年齢まで生きてきた、ということとに含まれている「より多くの経験をしている」ということは、すべての老いた人に共通に持たれているものではない。経験というものは、すべての人に外から同じものとして与えられるわけではない。経験はされるものではなくて、経験するものなのである。

経験する、とは②具体的に、は、どう、いう、ことを、することなのだろうか。例えば、「戦争を経験する」とは、戦争という一つのまとまった存在があつて、それが私の身体に外からぶつかつてきて、はじめてそれが何かということがわかるというものではない。それがわかるのは、殺し合いの経験をすることである。戦争とは、共同体や国家の上位に立つ二人（あるいは多くの人びと）がお互いに戦いを決意して、その集団を構成する人びとが戦い、すなわち敵と味方に分類されて、お互いに相手を殺そうと銃を撃ち合い、③ケンで殺し

合うということである。あるいは、相手が寝ているところを銃で撃ち殺す……、といった通常では許されない殺人行為を積極的に行うことであり、場合によっては英雄として、エような行動をすることである。そして、そのことが戦争の経験なのである。また、その反対に敵に負けて、④傍らにいる友人が殺され、自分も敵の武器によって負傷することも、同じく戦争を経験することである。これはその人にとっては悪い経験であるが、もちろんとときには好ましい善い経験を持つこともある。

しかし、経験というものの価値は、ただそれらを持っている、ということにあるのではなくて、自分の持っている、ある時、どこかで与えられた経験を、これから先の生活の中でどのようにして私自身の行為行動をもって善く生かすか、ということにある。ただ、自分のうちに持っているだけでは、その経験はいわば死んだままであるのである。それを生かすには、私の以後の新しい異なった生活において、どのような行為を通じて蘇らせるかが重要となる。

「老い」とは、その能力を十分に持っていることを意味している。ただし、「老い」のもう一つの別な特質は、自分自身で今まで行なったことのなかった新しい行動を（その能力は持っている）実行することの、いわば面倒くささという、老人に誰しも内在している傾向である。たしかに老人の持つオ弱さが、この傾向を助長することになっているのだが、それを打破るのはカ強さにほかならない。そして、このカ強さは年齢と共に弱くなるものではない。考えてみれば、老いというオ特徴は、このようなカ強さの発揮を妨げるものではない。老いれば老いるほど、自分が責任を持たねばならないような事柄は少なくなっていく、自分がこうと思っただけを実行することへのキは弱まるはずである。私は「老いる」ことによって、若い時には多く強くあつた行動へのキは（例えば家族への心遣いなど）少なくなるはずであるから、なにごとかを実行することへのキは小さくなると思う。したがって、自分が「すべきだ」と考えたことを断行する能力は、身体の弱体化とは関係なく、むしろ⑥強化されるのではないかと、思っている。若い頃には行動力が旺盛で社会的な諸関係も少ないから行動への決断は容易であるが、普通には考えられているようであるが、私はその反対に「老いる」ことにも同じような外的条件が増えるという面があるし、まして死もそう遠くはなく、生きている間の気遣いは少し弱くなるのだから、なにごとかを決断し実行するための条件は揃っているのではないか、と思うのである。

問1 文中の空欄 **ア** に適当な言葉を入れなさい。もつとも適切なものを、A～Eから一つ選び、記号で答えなさい。
(解答番号は1)

- A 文学
- B 宗教学
- C 哲学
- D 医学
- E 心理学

問2 文中の空欄 **イ** に適当な言葉を入れなさい。もつとも適切なものを、A～Eから一つ選び、記号で答えなさい。
(解答番号は2)

- A しかし
- B したがって
- C また
- D もしくは
- E そして

問3 文中の空欄 **ウ** に適当な言葉を入れなさい。もつとも適切なものを、A～Eから一つ選び、記号で答えなさい。
(解答番号は3)

- A 個人
- B 積極
- C 身体
- D 社会
- E 日常

問4 傍線①の「理由」としてもつとも適切なものを選択せよ。A～Eから一つ選び、記号で答えなさい。
(解答番号は4)

- A 若者は年長者の親身な態度に期待しているから
- B 若者は年長者の社会的な立場に期待しているから
- C 若者は年長者の心遣いに期待しているから

- D 若者は年長者の経験に期待しているから
E 若者は年長者の断行力に期待しているから

問5 傍線②「具体的」の対義語として、もつとも適切なものをA～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。
(解答番号は5)

- A 対照的
B 抽象的
C 反対の
D 消極的
E 具象的

問6 傍線③「ケン」の漢字として、もつとも適切なものをA～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。
(解答番号は6)

- A 険
B 検
C 儉
D 剣
E 験

問7 文中の空欄「エ」に当てはまる表現として、もつとも適切なものをA～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。
(解答番号は7)

- A 誉め称えられる
B 助け合える
C いがみ苦しむ
D 味方を欺く
E 生還する

問8 傍線④「傍ら」の類義語として、不適切なものをA～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。
(解答番号は8)

- E D C B A
付近 付録 脇側 近く

問9 文中の空欄「オ」と「カ」の組み合わせとして、もっとも適切なものを、A～Eから一つ選び、記号で答えなさい。
(解答番号は9)

- E D C B A
オオオオオ
精神的 心理的 身体的 肉体的 精神的
カカカカカ
心理的 肉体的 精神的 身体的 精神的

問10 文中の空欄「キ」に当てはまる語句として、もっとも適切なものをA～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。
(解答番号は10)

- E D C B A
圧力 応援 決断 抵抗 意欲

問11 傍線⑤「遣」の読みについて、もっとも適切なものをA～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。
(解答番号は11)

- E D C B A
やる づか つか けん やり

問 12 傍線⑥「強化される」について、筆者が「若い」によって強化されると考える能力は何でしょうか。もっとも適切なものをA～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。
(解答番号は12)

- A 新しい行動が面倒くさいと感じる能力
- B 与えられた経験を自分のうちに持っている能力
- C 行動力が旺盛で、死を遠く感じる能力
- D 家族を心遣い周囲を気遣う能力
- E 自分が「すべきだ」と考えたことを断行する能力

問 13 筆者が述べる「若い」と「若さ」について、当てはまらないものをA～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。
(解答番号は13)

- A 若さ―身体的に強く、行動力旺盛―決断できる
- B 若い―残り時間少ない―決断できる
- C 若さ―社会的な諸関係が少ない―決断できる
- D 若い―家族への心遣いふえる―決断できない
- E 若い―社会的な諸関係が減っていく―決断できる

問 14 次のA～Eのうち、筆者の考えと違うものを一つ選び記号で答えなさい。

(解答番号は14)

- A 若い人たちが困難に遭遇したとき、年齢の上の人に相談しに行くのが通常である。
- B 「より多くの経験をしている」ということは、若い人にも共通に持たれている。
- C 「戦争を経験する」とは殺し合いの経験をすることである。
- D 経験を生かすには、どのような行為を通じて経験を蘇らせるかが重要である。
- E 老いれば老いるほど、自分が責任を持たねばならないような事柄が少なくなる。

問 15 二重線「好ましい善い経験」の内容は本文中に説明されていませんが、それはなぜだと考えられますか。A～Eのうちもっとも適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。
(解答番号は15)

- A 高齢のため書き忘れた
- B 戦争について善い経験を書くのはためらわれた
- C 戦友たちの顔が浮かんでくことばにならなくなった
- D 善い経験の内容を説明するよりも、経験を善く生かす議論に移りたかった
- E 「好ましい善い経験」と言うだけで、誰にも内容が想像できると考えた

次の文章を読んで、後の問い（問1～問8）に答えなさい。解答は解答用紙に記入しなさい。

自分の中にある「生きる意味」とか「宝」といったものに気づける人はどういう人なのでしょう。はつきりとは言えませんが、一つの条件は「自分の弱さをとことん知っている人」ではないかと思えます。自分が弱くて臆病な存在であり、醜い存在であるということをとことん見抜き、A 経験する。あるいはどん底を経験する。それによって、自分を包んでいた嘘の飾りが剥がされて裸になっていく。そうすると、自分がいかにちっぽけな存在で、つまらなくてくだらないものかとわかってくるのです。

私たちはこの宇宙の中で、一瞬にも等しい時間だけ生きている存在です。宇宙創世から百三十八億年が経ち、この地球の誕生から数えても四十六億年の歴史があるといわれています。人類の直接の祖先が最新の研究で、約二百八十万年前、猿人も含めると数百万年前まで遡ります。こうした時間的スパンの中であって、私たちは長くてもせいぜい百年生きて死んでいくのです。子孫が残るとは言っても、その子孫もいずれは絶えてしまうでしょう。あるいは他の人と交ざりあっていくでしょう。そもそも、宇宙における知的生命体が築く文明は、どのくらいの期間存続可能なのでしょうか。私たち人類文明も含め、せいぜい数万年くらいしか存続せず滅亡してしまうという説があります。だからこそ、いわゆる宇宙人とのセッショクがなかなか生じないのだと説明する研究者もいます。

例えば、米国の天文学者フランク・ドレイクは今から五十年以上前に、有名な「ドレイクの方程式」と呼ばれるものを発表しました。これは宇宙に知的生命体がどの程度存在し、どのくらいの確率でコンタクトが可能になるかを算定するためのカセツ的な方程式です。ここでは通信技術を持つに至った知的生命の文明の存続期間を一万年と仮定しています。

それどころか、もしかすると、私たち人類の未来はもつとずっと早く、例えば数千年か数百年で終焉を迎えるかもしれません。そして滅亡したら、宇宙の中でまた人類全体が原子に戻っていくのです。

そう考えたときに、本当に永続するものは何もないのではないかという思いが強くなります。私たちは豚とか鶏とかを食べていますが、彼らとどこが違うのか。ある程度生きて死んでいくという点で同じなのではないでしょうか。

そういう現実を踏まえたうえで、それでもなお、自分の生に意味があるのか、限られた存在で、弱くて傷つきやすい無力な自分だけけれど、それでも生に意味があるのかとことんまで問

い詰めたときに、「ある」と答えることができれば、その生涯には意味が生まれるのだと思います。そこで「B」と答えたならば、もう生きることの意味は何もないのです。

そういう問いかけに「C」と答えられる自分であるかどうか、ここに生を輝かせることができるかどうかの大きな境目があると思います。

私たち人間は皆、この世の中のことについてほとんど何も知らない馬鹿者^⑤なのです。一秒後に生きているという保証はどこにもありません。きょうの夜、心臓発作で死ぬかもしれない。明日の朝、脳の血管が破れて死ぬかもしれない。しかし、そのことは誰にもわかりません。

だから私たちは極めて弱いし、取るに足らない存在なのです。何も知らない馬鹿のかたまりみたいなものなのです。これは比喩的に言っているわけではありません。自分が何も知らないということは、少し勉強すれば誰にでもわかるはずです。私は東大の教授という職業に就いていますが、驚くほど何も知りません。同僚の中には優れた研究者は多くいますが、一人の研究者が世の中のことについて知っていることわかつていることは、極めて限られています。

「知らない」というのは、単純な知識不足だけを言っているわけではありません。世の中にはいろいろな人がいるということを知らないし、考えてもみなかったこと、想像できないことも多いと言いたいです。

そういう自分の非力さ、無力さ、怠惰^②さといったものを認めて、どん底まで落ち込んだところで、「それでも生きる意味があるか」と考える。そうすることで自分の生きる本当の意味や自分の中にある宝に気づくのではないのでしょうか。

(福島智著 『ぼくの命は言葉とともにある』 致知出版社 2015年より)

問 1 文中の傍線㉞、㉟の、漢字には読み方をカタカナで記し、カタカナには漢字を記さない。

問 2 空欄 A、C に入れるのに適切な言葉を、記入しなさい。

問 3 傍線①「永続するものは何もないのではないか」と筆者は述べているが、この理由を具体的に説明しなさい。

問 4 傍線②「怠惰」の反対語を記しなさい。

問 5 傍線③筆者のいう「知的生命体」の意味について、簡潔に説明しなさい。

問 6 傍線④「嘘の飾り」を剥がすための筆者の考え方を、簡潔に説明しなさい。

問 7 傍線⑤で筆者が考える「知らない」とは、どういう意味なのか、本文全体を読んでまとめなさい。

問 8 筆者はどのようにしたら「生きる意味」が見出せると述べているか。筆者の主張をまとめなさい。

二〇一六年度 沖縄キリスト教短期大学 入学試験問題
国語総合解答用紙〔記述テスト〕

受験番号
氏名

合計点数

問 1
㉞

㉟

㊱

(各1点)

問 2
㊲

A

B

C

(各3点)

問 3

(5点)

問 4

(2点)

問 5

(5点)

問 6

(5点)

問 7

(5点)

問 8

(5点)